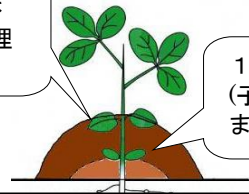


初期生育の確保のため、「適期の培土」「排水対策」「草種に応じた雑草防除」を徹底しましょう

1 培土の実施

- ・ 2回の培土を適期に実施し、株元までしっかりと土をかける。
- ・ 培土作業後は、速やかに培土溝を額縁排水溝と排水口に連結する。

2回目高さ
(初生葉が埋まる程度)



1回目高さ
(子葉が埋まる程度)

【注意】

黒根腐病が多発する圃場の培土は1回のみとし、5葉期頃に初生葉が埋まる程度まで土を上げる（通常の2回目培土の時期と高さ）。培土は1回のため、その間必要に応じて除草対策を行う。

2 雑草防除

- ・ 草種や発生状況に応じ、適切な除草剤(下表)を選択して遅れずに散布する。

表 生育期間中に使用可能な除草剤

種類	散布方法	雑草の種類	薬剤名	散布量 10a 当たり	注意
選択性除草剤	全面散布 (大豆の上から散布が可能)	1年生イネ科雑草 (スズメノカタビラ除く)	ポルトフロアブル	薬液 200~300mℓ 水 100ℓ	・ 散布は1回まで、収穫30日前まで ・ イネ科雑草3~10葉期
		1年生雑草 (イネ科除く) (帰化アサガオ類6葉期まで)	大豆バサグラン液剤	薬液 100~150mℓ 水 100ℓ	・ 散布は1回まで、収穫45日前まで ・ 大豆2葉期~開花前まで ・ 著しい高温時や、大豆の生育不良の場合は使用を避ける
非選択性除草剤	畦間散布 (大豆にかけない)	1年生雑草 ※イヌホオズキ、 エノキグサ含む	ロロックス	薬剤 100~200g 水 100ℓ	・ 雑草茎葉散布は1回まで ・ 収穫30日前まで ・ 大豆3葉期以降(雑草15cm以下) ・ 株間処理の登録あり
		雑草全般 ※イヌホオズキ、 エノキグサ、 帰化アサガオ類含む	ザクサ液剤 バスタ液剤	薬液 500mℓ 水 100ℓ	・ 雑草茎葉散布は3回以内 ・ 収穫28日前まで ・ バスタは大豆5葉期以降、株間散布の登録あり ・ ザクサ、バスタの総使用回数は、両剤合わせて3回以内

吊り下げノズルを使用する

- ・ 散布の際は、飛散の少ないノズルの使用や風の弱い時間帯を選ぶなど、周辺作物に飛散しないように注意する。

※注意が必要な雑草

〔イヌホオズキ、帰化アサガオ類は難防除雑草
エノキグサ(右写真)は近年管内で多発している雑草〕



【作業体系例 ~イヌホオズキ等の難防除雑草が多い場合~】

大豆の生育 作業日目安	播種	2葉期	3葉期	4葉期	5葉期	成熟期
	6/5	6/25	6/30	7/5	7/10	10/12
	▽	▽	▽	▽	▽	▽
	▲	△	▲	△	▲	△
作業等	プロールプラス、 ラクサー等散布	1回目培土	ロロックス 散布	2回目培土	バスタ液剤、 ザクサ液剤等散布	手取り